



健康保険などの公的医療保険制度による医療費は「診療報酬」という法令に基づいた金額により算定されます。医療機関は患者を診察した記録(通称カルテ)をもとに、医療費を請求するための「診療報酬明細」(通称レセプト)を毎月作成して、医療費を請求します。

本チラシでは、医療費事例を紹介します。

(データ提供:株式会社セールス手帖社保険FPS研究所)

※この事例は、当該傷病で想定される具体的な症状や治療・経過を記載しています(実際の事例ではありません)。また、金額は、2013年(平成25年)8月現在の診療報酬、公的医療保険制度に基づき算出しています。

※医療機関の基準については、看護体制の整った都心部の急性期医療機関を想定して作成しています。

事例

大腸がん(リンパ節転移のため、術後抗がん剤治療を実施 2年目肝臓へ転移)で、2年経過(42歳 女性)

事例の具体的な経緯、症状、治療内容(概要)

数か月前より便が細くなり、排便時の出血がみられるようになったため、クリニックを受診した。大腸内視鏡による検査の結果、S状結腸がんと診断された。紹介先の病院で貧血のため緊急入院し、その後結腸とリンパ節の切除手術が行われた。縫合不全や腸閉塞などの合併症もなく、20日間で退院となったが、手術後の検査でリンパ節にがんが転移していることが判明し、内服による抗がん剤の服薬を6クール(4週間服薬後1週間休薬)行った。2年目の定期検診で、肝臓への転移が疑われ、精密検査のため入院。転移したがんは1か所のみで、肝機能も安定しているため、肝臓の一部を切除する手術を受け、現在入院・加療中である。



支払総額
(一般)

982,591円

(上位所得者の場合1,145,919円)

支払総額の明細は裏面をご覧ください。

※食事自己負担額、室料(差額ベッド)を含みます。食事自己負担額、室料(差額ベッド)以外にも、入院時寝具料・衣料代、交通費(家族分も含む)などの雑費が必要となる場合があります。



●事例における医療費の内訳と自己負担、高額療養費、その他費用

支払総額
(一般)

982,591円

(上位所得者の場合1,145,919円)

5

1 医療費	入院1月目	入院2月目	術後1月目～ 1年9月目	術後2年目	入院1月目	合 計
入院日数	7日	13日	0日	0日	14日	34日
通院日数	0日	0日	計23日	計3日	0日	26日
初診料 (円)	2,700	0	0	0	0	2,700
再診料 (円)	0	0	14,000	1,400	0	15,400
医学管理料 (円)	12,350	3,800	28,700	4,000	10,850	59,700
投薬料 (円)	44,880	97,240	1,201,690	0	1,460	1,345,270
注射料 (円)	14,820	13,420	0	0	28,210	56,450
処置料 (円)	4,980	830	0	0	5,640	11,450
手術料 (円)	810,620	0	0	0	477,220	1,287,840
検査料 (円)	32,620	6,010	143,640	11,280	31,300	224,850
画像診断料 (円)	14,800	2,800	57,900	0	95,820	171,320
リハビリテーション料 (円)	0	0	0	0	19,300	19,300
入院料 (円)	183,630	240,110	0	0	315,680	739,420
医療費合計 (円)	1,121,400	364,210	1,445,930	16,680	985,480	3,933,700
2 A 3割自己負担額 (円)	336,420	109,260	433,770	5,000	295,640	1,180,090 A
3 高額療養費	入院1月目	入院2月目	術後1月目～ 1年9月目	術後2年目	入院1月目	合 計
自己負担限度額(一般) (円)	88,644	81,072	限度額を超えた月なし	限度額を超えた月なし	87,285	—
B 高額療養費 (円)	247,776	28,188	0	0	208,355	484,319 B
4 その他の費用	入院1月目	入院2月目	術後1月目～ 1年9月目	術後2年目	入院1月目	合 計
入院時食事自己負担額 (円)	1,300	6,500	0	0	7,020	14,820
室料(差額ベッド) (円)	56,000	104,000	0	0	112,000	272,000
C 小 計 (円)	57,300	110,500	0	0	119,020	286,820 C
支払総額(一般)	入院1月目	入院2月目	術後1月目～ 1年9月目	術後2年目	入院1月目	合 計
自己負担額総計 A - B + C (円)	145,944	191,572	433,770	5,000	206,305	982,591 5

※食事自己負担額:1食260円×食事回数計57回(大腸がん30回、肝臓がん27回)で計算。

※室料(差額ベッド):この事例では1日8,000円として計算。(室料(差額ベッド)は病院や室により異なります。かからない場合もあります。)

※事例の内容(治療内容・治療経過等)は、表面をご覧ください。

※「その他の費用」として表示している食事自己負担額、室料(差額ベッド)以外にも入院時寝具料・衣料代、交通費(家族分も含む)などの雑費が必要となる場合があります。

事例の読み方

1 医療費の内訳と3割自己負担額

レセプトに応じた医療費の明細と3割自己負担額です。

2 医療費の自己負担額総額

所得により異なります。本チラシでは一般所得者と上位所得者(標準報酬月額53万円以上)のケースを記載しています。収入に応じて自己負担の金額が異なりますので注意してください。

3 高額療養費(70歳未満の場合)

以下の算式・手順で求められます。(概要)

a) 自己負担限度額の算出

一般所得者: $80,100円 + (医療費合計 - 267,000円) \times 1\%$
上位所得者(標準報酬月額53万円以上): $150,000円 + (医療費合計 - 500,000円) \times 1\%$

b) 高額療養費の算出

(自己負担額) - (高額療養費の自己負担限度額)

4 その他の費用

医療費以外にかかった費用について食事自己負担額、室料(差額ベッド)を表示しています。食事自己負担額、室料(差額ベッド)以外にもその他雑費が必要となる場合があります。

5 当該事例における最終的な自己負担の総額

本チラシは、株式会社セールス手帖社保険FPS研究所よりデータ提供を受け、作成したものです。公的医療保険制度については、各公的医療保険の窓口にお問い合わせください。

●取扱者/代理店

●引受保険会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社